

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： HER2 陽性唾液腺癌に対する trastuzumab の治療効果に関する研究

研究の目的

耳下腺や顎下腺などの唾液腺に発生する唾液腺導管癌は悪性度が高く、肺や肝臓などの遠隔転移も多いことが問題となる腫瘍です。本疾患の一部では腫瘍細胞に HER2 という分子が発現しており、それを標的とする分子標的治療薬であるハーセプチン(trastuzumab) が、2021 年に本疾患に対しても使用できるようになっています。この薬剤の治療効果、実際に治療を行う際に生じる問題点などを明らかにすることは、現在治療を行っている患者さんのみならず、今後この薬剤を必要とする患者さんにとって有意義であると考えられます。

研究実施期間： 研究実施許可日～2030 年 12 月 31 日

対象となる方： 2021 年 11 月～2027 年 12 月 31 日までに、附属病院耳鼻咽喉科において、HER2 陽性唾液腺導管癌と診断され、ハーセプチンを用いた化学療法を受けられた方。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、採血データ、画像検査データ、薬剤の投与量と投与回数について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、唾液腺導管癌が発生した場所(耳下腺、顎下腺など)、リンパ節転移の有無や肺などの遠隔臓器への転移の有無、治療回数や治療効果などを統計的に研究します。また倦怠感などの症状として感じる副作用、症状はなくても採血データなどに現れる副作用がどのようなものであったかも検証します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 工藤直美 0172-39-5099

